

様式 3

会 議 録

会議名 (審議会等名)		大野南地区まちづくり会議 (第2回全体会)		
事務局 (担当課)		大野南まちづくりセンター 電話042-749-2217 (直通)		
開催日		令和8年8月18日 (火) 午後2時00分から午後3時50分まで		
出席者	委 員	21人 (別紙のとおり)		
	その他	8人 公園課4人 市役所インターンシップ生1人 大野南地域包括支援センター実習生2人 上鶴間地域包括支援センター実習生1人		
	事務局	3人 (大野南まちづくりセンター1人、南区役所地域振興課2人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0名
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 会長あいさつ 3 市からの事業報告 (1) 相模大野中央公園のペット入園に係るアンケート結果について (公園課) (2) 相模大野中央公園の魅力向上に向けた改修について (公園課) 4 議 題 (1) 令和8年度地域活性化事業交付金について ア 大野南地区防災マップの作成について イ 自治会設立準備に関することについて (2) 令和8年度まちづくりを考える懇談会について ア アンケートの結果について イ まちづくりを考える懇談会のテーマについて (3) 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について 5 閉 会		

審 議 経 過

議題等について、主な審議内容は次のとおり。

(●は委員の発言、○は担当課の発言、□は事務局の発言)

1 開 会

2 会長あいさつ

会長のあいさつの後、相模原市インターンシップ生1名、大野南地域包括支援センターの実習生2名及び上鶴間地域包括支援センターの実習生1名が参加する旨説明した。

3 市からの事業報告

相模大野中央公園のペット入園に係るアンケート結果について
相模大野中央公園の魅力向上に向けた改修について

公園課より別添資料「相模大野中央公園のペット入園に係るアンケート結果について」「相模大野中央公園の魅力向上に向けた改修について-1」「相模大野中央公園の魅力向上に向けた改修について-2」に基づき説明を行った。

●3点確認したい。1点目はアンケート結果を踏まえ案2を採用したことについて、メリット・デメリットをどのように整理したのか、2点目はサイン表示については分かりやすく分けられる一方で消えやすいといったデメリットがあると思うが、メンテナンスをどの程度考えているのかを確認したい。3点目は運用が変わることで利用者間のトラブルが起こり得るため、導入当初は指導員を短期的に配置することを提案したい。(藤井委員)

○案2とした理由は、最も票数が多かったことに加え、動物が苦手な方やアレルギーのある方もおり、鴨が来ること等も踏まえて総合的に判断し、全面開放ではなく赤色部分の一部開放としたものである。文京方面からの通行にも配慮し、文京方面・相模大野方面の双方から犬の散歩で通行できる利便性も考慮した。サインは指定管理施設として日常点検を毎日行っており、見えづらくなった場合は随時更新する。指導員の配置は指定管理者に相談したい。(公園課市橋課長)

●案2について聞きたかったのは回遊性・連続性の考え方であったが、文京地区からのアクセスも考慮しているとのことで理解した。(藤井委員)

●水景施設について、噴水に使う水は水道管から直結か、一旦プールしてからになるのか。(岡城委員)

○噴水の水源は水道水である。全ての量を流すと費用がかかるため半循環方式とし、使用する水の9割は循環させ、塩素等で消毒・殺菌したうえで繰り返し使用する形で考えている。(公園課林主査)

●一旦貯める形になると、衛生面から定期的な残塩の測定など管理基準が必要になると思うので、しっかり行ってほしい。また、いつからいつまで使用するのか。(岡城委員)

○他の施設も含めて毎日点検している。(公園課林主査)

○噴水の使用期間は、今年度は9月12日のオープン後、11月中旬まで実施する予

定である。(公園課市橋課長)

●災害対応自動販売機の収容本数(450本)は、当地が広域避難場所であることを踏まえると、いざという時には焼け石に水のようにも思え、災害対応として十分とはいえないのではないかと。業者が設置したというだけでなく、公園に人が集まった際の基本的な災害対応こそ重要である。(中村委員)

○避難所における備蓄等は別の議論であり、本件は指定管理者の自主事業・地域貢献としての前向きな提案で、備蓄に対するプラスアルファと考えている。ぜひ設置させていただけたらと考えている。(公園課市橋課長)

●晴天時の地震では帰宅困難者を公園に集める考えを聞いたことがあるが、豪雨時には帰宅困難者への対応は難しいと思う。災害時の対応について、教えていただける機会があるとよいと考える。(大木委員)

○意見があったことは持ち帰ります。(公園課市橋課長)

4 議 題

(1) 令和8年度地域活性化事業交付金について

資料1及び資料2に基づき、事務局より説明した。今回の2案件について、本交付金の適用がふさわしいかどうかの審議を行った。

質疑応答等は次のとおりである。

ア 大野南地区防災マップの作成について

●年数が経過し避難情報も大きく変わっているため、防災の観点から更新が必要である。交付金を活用しないと交付額が年々減少しており、今年度の予算額は南区7地区で一律35万円となっている。今年度中に申請したい。(大木委員)

●本交付金は、従来の3年間から、同一の取組について5年間、交付を受けられるよう制度が変更されている。一度に印刷せず、複数年で全戸に行き渡らせることも可能である。異存がなければ準備を進めたい。(大木委員)

イ 自治会設立準備に関することについて

●大野南地区の中心が自治会の空白地区となるのは地域にとってマイナスで、災害時が心配である。当該マンションは、自宅のある階と他の階とが行き来しにくい居住形態で交流を図ることが難しいため、オーノクロス広場などを借り、加入促進を兼ねたイベントを行いたい。まだ、自治会もできていなければ、準備金となるお金も持っていない状態であるため、交付金を申請し、なんとかイベントを実施できるよう応援したい。承認をお願いしたい。(大木委員)

●交付金を使用する際、管理組合の会計と明確に分ける必要があるか。一つのイベントを両方で費用負担する形でも交付対象となるか。(藤井委員)

□管理組合は区分所有法に基づきマンション管理に限定した目的の団体であり、自治会は別の任意団体である。基本的に管理組合との費用面の連携は想定できないものと考えるが、管理組合が自治会に協力する動きがあれば検討の余地はある。(事務局・大木)

●来年3月議会で自治会活動推進の条例制定を目指しているが、地方自治法を超える内容は定められず、加入を強制できない難しさがある。マンションの性質上、有志の声掛けで加入を増やす方法をとらざるを得ない。少数の住民が奮闘して自治会を立ち上げていくのも大変だと思われるため、イベントを通じて子どもや親世代を誘い、自

治会設立につなげたい。(大木委員)

【結果】

上記2案件について、いずれも本交付金の活用を前提に進めることが承認された。申請等の手続を含め、今後具体化を図ることとした。

(2) 令和8年度まちづくりを考える懇談会について

ア アンケートの結果について

イ まちづくりを考える懇談会のテーマについて

資料3から資料5に基づき、事務局より説明した。

〔グループワーク（1回目・アンケート結果を受けての感想・意見）〕

出席委員及び実習生がA・B・Cの3グループに分かれて協議し、各グループが発表した。主な発表内容は次のとおりである。

●Aグループ

地元企業に関する意見は少なかったが、意識の向上・活性化が必要である。自転車利用マナーは、利便性が高い地域だからこそ周知が必要である。道路インフラ・防犯安全は、アンダーパスの洪水等が心配である。熊本の地震・千葉の洪水などの影響によりタイムリーに関心が高く、今後のテーマにつながるとよい。

●Bグループ

懇談会は要求の場ではなく、地区と市が協働で何ができるかを共有しながら考える場であることを確認した。当地区は、駅前で商店街やボーノ、ステーションスクエア等の協力によりイベントが多く賑わいがあることが強みだが、これを相模原市全域へ広げる発信力が欲しく、市によるバックアップの仕組みを求めたい。防災面では、小中学校はPTA会費で、福祉団体等も少量ずつ自助的に備蓄しているが、災害時に不足する不安があり、市による防災意識の醸成・備蓄整備のバックアップを求めたい。

●Cグループ

自然災害への対応として、相模原は災害が少ないが気候変動で今後何があるかわからず、住民が貯水・貯蔵庫の場所を知らないため、防災地図の作成を通じて情報を丁寧聞き出し共有できるとよい。人口に比べ公共施設や映画館が少なく、特に南市民ホールがなくなり、成人式もグリーンホールが使えず中央区と合同で実施している。ユニコムプラザ等を活用した多世代交流・賑わいづくりも期待される。マンション等で横のつながりが薄く、災害時に情報共有できるかどうか課題である。

●(防災マップに関連して) 大野南地区周辺のアンダーパスは、豪雨時には回避すべき旨をマップに明記した方がよい。先般の大雨時にはゴルフ場周辺(国道16号方面へ通じる道路)が短時間で冠水し、反対車線のバスが中央線をはみ出すなど、排水状態に懸念があった。長雨の際は地域の下水道も心配である。(大木委員)

●南市民ホールの跡地利用については、市の担当部局が「さがみはら文化芸術振興プラン」に基づき、南区合同庁舎の長寿命化計画と連動して各区に文化振興プラザを設ける検討をしている。他区と比較して相模大野周辺は利用可能なホールが不足している。また、先日使用した相模女子大学グリーンホール多目的ホールも地下のトイレに長い階段があるなど高齢者に配慮されておらず使い勝手が悪い。こうした課題も含め、地域のホール利用環境について再考が必要である。(大木委員)

〔グループワーク（２回目・テーマ候補３つ程度と論点）〕

引き続き協議し、各グループが発表した。主な発表内容は次のとおりである。

●Cグループ

① 災害時の避難情報について

住民の意識の向上が図れるよう、担当間の縦割りを超え、市としての情報提供が横串で見られるとよく、自治会や各避難所の動きも示されるとよい。

② 公共施設について

人口に比して公共施設が少なく、南市民ホールのような施設が残るとよい。

③ 相模大野駅周辺の方角性について

大きな再開発が見込まれない中で、相模大野駅周辺の今後の方角性を知りたい。

●Bグループ

① 地区の魅力の発信について

地区の良い活動・魅力が発信できる仕組みを求めたい。広報紙は自ら受け取りに行く必要があるため、市が区民の情報を集約し全市民に届くプラットフォームを構築し、デジタル化（SNSとは別に市民全体に届く仕組み）ができるとよい。

② 災害時の防災備蓄の強化について

地域・学校との連携や、市のソフト面、ハード面の整備方針を共有できるとよい。

●Aグループ

① 地元企業の活性化

企業の人手不足が課題で、市に地域企業と住民の接点づくりや市外からの誘客への協力を求めたい。

② 自転車利用マナー

逆走やルール理解不足が見られる。まず、警察による取締りの強化を求める。

③ 道路インフラについて

アンダーパスの冠水について、危険となる降雨量の防災マップへの記載や、水位が分かるマークの設置を求める。

【結果】

グループワークによりまちづくりを考える懇談会におけるテーマ候補などを討議した。本日の内容を整理したうえで、１０月１３日開催の第３回全体会にてテーマ案を検討することとした。

（３）各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

●１０月１２日、南区合同庁舎第１駐車場で「秋祭りガラポン抽選会」を開催する。また、同日、小学生を対象とした第１回「まちなかスポーツラボ」を開催し、プロ女子バスケットボールチーム「相模原ウインドウイングス」を招いてシュートを打っていただくイベントを行い、参加者には縁日無料券などを提供する。また、相模原商工会議所商業部会による第２３回「相模原お店大賞」が８月２０日から開始される。（飯田委員）

●９月１９日、２０日に「もんじえ祭り」が開催される。クラウドファンディングを実施中で、ホームページ等からの協力を呼びかける。（中田委員）

以 上

大野南地区まちづくり会議委員出欠席名簿

(出席者 21名 欠席者 4名)

No	団体名	団体での役職	氏名	出欠席
1	大野南地区自治会連合会	会 長	大木 恵	出席
2	大野南地区自治会連合会	副会長	渋谷 利雄	出席
3	大野南地区自治会連合会	副会長	瀬戸 量平	出席
4	大野南地区自治会連合会	副会長	中村 洋子	出席
5	大野南地区自治会連合会	会 計	土山 美保	出席
6	大野南地区社会福祉協議会	会 長	渋谷 典彦	出席
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会 長	岡城 孝雄	出席
8	女子大通り商工振興会	会 長	飯田 美津雄	出席
9	相模大野北口商店会	会 長	斎藤 誠	出席
10	相模大野銀座商店街振興組合	副会長	中田 克己	出席
11	相模大野南新町商店街振興組合	理事長	岩井 大輔	出席
12	ボーノ会	副会長	三井 大輔	出席
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	法人理事・事務局長	後藤 一郎	出席
14	相模原市立谷口小学校PTA	副会長	廣川 桂子	出席
15	相模原市立鶴園小学校PTA	会 長	伊東 邦治	欠席
16	相模原市立大野南中学校PTA	副会長	上野 恵美	出席
17	学校法人相模女子大学	専務理事	竹下 昌之	出席
18	大野南地区老人クラブ連合会	会 計	岩永 征四郎	出席
19	相模原市立大野南公民館	館 長	島田 欣一	欠席
20	相模原市立上鶴間公民館	館 長	三條 朋美	欠席
21	大野南地域包括支援センター	センター長	岡本 三千	出席
22	上鶴間地域包括支援センター	センター長	古荘 祥子	出席
23	経験有識者	—	新村 玲子	欠席
24	経験有識者	—	天野 佑亮	出席
25	公募	—	藤井 琢磨	出席



大野南地区まちづくり会議第2回全体会次第

日 時 令和8年8月18日（火）午後2時から

場 所 南区合同庁舎3階 講堂

1 開 会

2 会長あいさつ

3 市からの事業報告

相模大野中央公園のペット入園に係るアンケート結果について（公園課）

相模大野中央公園の魅力向上に向けた改修について（公園課）

4 議 題

（1） 令和8年度地域活性化事業交付金について

ア 大野南地区防災マップの作成について……………資料1

イ 自治会設立準備に関することについて……………資料2

（2） 令和8年度まちづくりを考える懇談会について

ア アンケートの結果……………資料3・資料4

イ まちづくりを考える懇談会のテーマについて……………資料5

（3） 各団体からの地域事業やイベント等の情報交換について

5 閉 会

【次回以降のまちづくり会議開催予定（会場：南区合同庁舎3階 講堂）】

○第3回全体会：令和8年10月13日（火） 午後2時から

○第4回全体会：令和8年11月17日（火） 午後2時から

大野南地区まちづくり会議委員名簿

(敬称略)

No	団体名	団体での役職	氏名
1	大野南地区自治会連合会	会 長	大木 恵
2	大野南地区自治会連合会	副会長	渋谷 利雄
3	大野南地区自治会連合会	副会長	瀬戸 量平
4	大野南地区自治会連合会	副会長	中村 洋子
5	大野南地区自治会連合会	会 計	土山 美保
6	大野南地区社会福祉協議会	会 長	渋谷 典彦
7	大野南地区民生委員児童委員協議会	会 長	岡城 孝雄
8	女子大通り商工振興会	会 長	飯田 美津雄
9	相模大野北口商店会	会 長	斎藤 誠
10	相模大野銀座商店街振興組合	副会長	中田 克己
11	相模大野南新町商店街振興組合	理事長	岩井 大輔
12	ボーノ会	副会長	三井 大輔
13	医療法人社団仁恵会黒河内病院	法人理事・事務局長	後藤 一郎
14	相模原市立谷口小学校 P T A	副会長	廣川 桂子
15	相模原市立鶴園小学校 P T A	会 長	伊東 邦治
16	相模原市立大野南中学校 P T A	副会長	上野 恵美
17	学校法人相模女子大学	専務理事	竹下 昌之
18	大野南地区老人クラブ連合会	会 計	岩永 征四郎
19	相模原市立大野南公民館	館 長	島田 欣一
20	相模原市立上鶴間公民館	館 長	三條 朋美
21	大野南地域包括支援センター	センター長	岡本 三千
22	上鶴間地域包括支援センター	センター長	古荘 祥子
23	経験有識者	—	新村 玲子
24	経験有識者	—	天野 佑亮
25	公募	—	藤井 琢磨

相模大野中央公園のペット入園に係るアンケート結果について

令和8年8月18日大野南地区まちづくり会議（全体会）
相模原市 公園課

概要

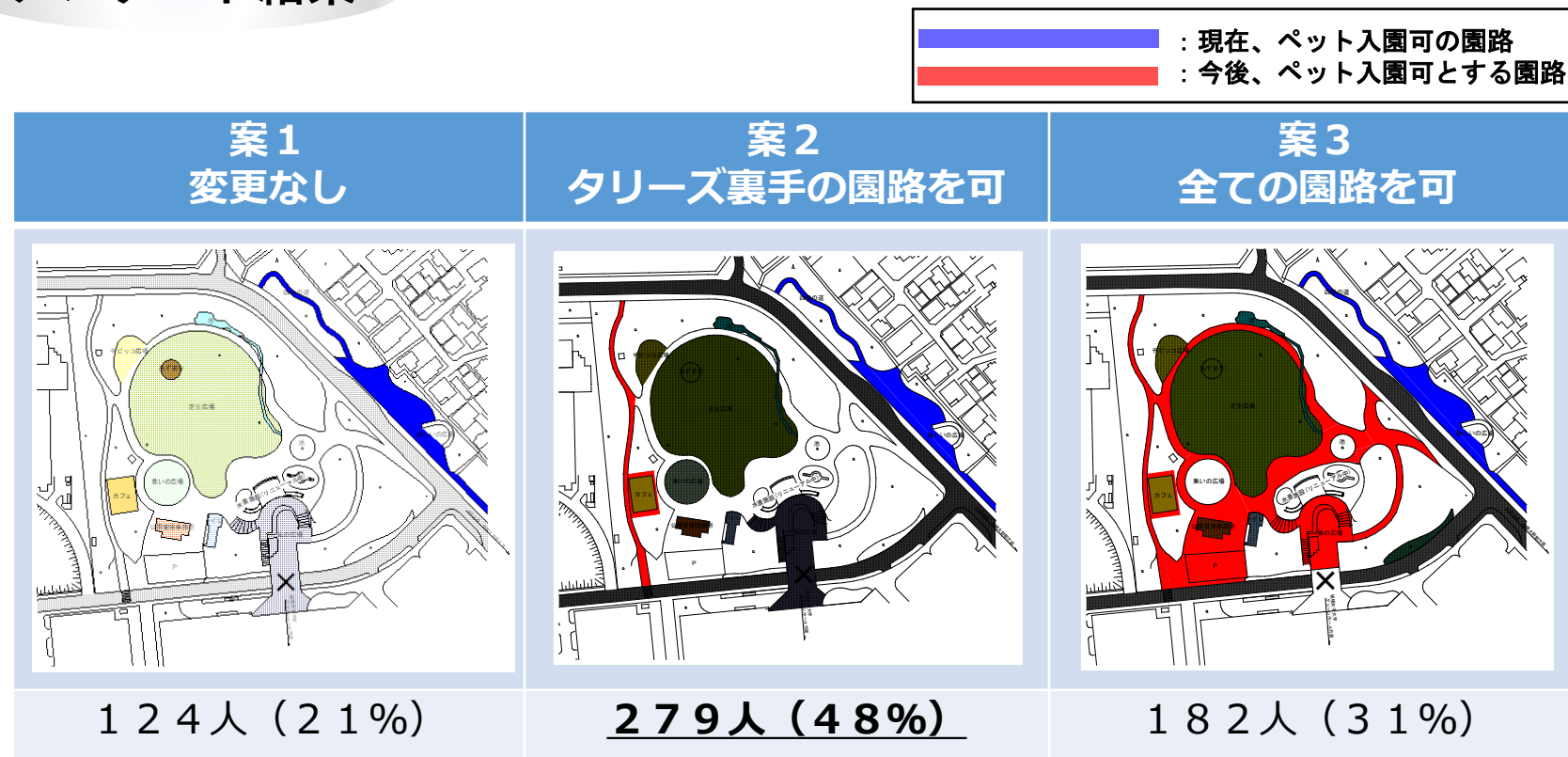
- ・相模大野中央公園は開園当初（H2）から、「四季の道」エリア以外はペット禁止の状況
- ・近年、犬を連れて散歩したいという要望が多いことや今年1月に設置したカフェ事業者からも同様の要望がある状況
- 👉公園を取り巻く環境変化や社会情勢の変化を踏まえ、公園の魅力向上を図るため、「ペットの入園」について公園利用者等の意向を把握するためのアンケート調査を実施

アンケート実施内容

- ・日時：令和8年5月23（土）、24（日）、27（水）
- ・対象：相模大野中央公園利用者、公園周辺歩行者、子育て広場「たんと」利用者、タリーズ利用者
- ・方法：パネルで3案提示し、シールを貼付
その他意見があれば聞き取り



アンケート結果



▶回答数585のうち、約半数がタリーズ裏手の園路を可とする案2を希望

意見では、

- ・カモが来るので動物は入れないでほしい、ペット禁止だからこそ利用している、ペット可にすると芝生にも入ってきてしまう、といったペット入園に否定的なご意見が多かった
- ・飼っている方は案3にすると大型犬小型犬の許容やマナーの問題などルール運用づくりや周知が簡単ではなく、実際は案2が落としどころと理解しているが「お散歩コースの選択肢が増える」という意味に期待を込めて案3を選択が多く、3割を超える結果
- ・全体的には、小さい子やアレルギーなど様々な方が利用するので公園内で線引きができる案2、ペット可能な箇所に色をつけてほしい、といった折衷案や運用に対するご意見が多かった

▶ペットを飼っている人も飼っていない人も、様々な人が利用する公園のため、案2のようにエリアを明確に線引きできることを求める声が多かった

ペット入園に係る変更について

アンケート結果を受け、案2を基本に、ペットを飼っている人も飼っていない人も、皆が楽しめる公園となるよう以下のとおり変更する（今年度中の変更を予定）



- ・現地に案内看板、園路にペイント表示などを設置し、ペット可能エリアを明確にする
- ・地域情報紙で回覧を行い、十分な周知を実施

<ペイントイメージ>



タリーズ、指定管理者とも今後調整し、詳細な変更内容はまちづくり会議でご報告させていただきます

相模大野中央公園の魅力向上に向けた改修について-1

令和8年8月18日大野南地区まちづくり会議（全体会）
相模原市 公園課

水景施設リニューアル

改修コンセプト

池は廃止、路面をフラットにする

→水景施設を稼働する夏季以外も「広場」として
利用できる空間を創出

水のたまらない水遊び広場を整備する

→子育て応援公園であるため、公園のテーマの
一つである「水」を楽しんでもらう空間を創出

合成木材を用いたデッキを設置

→濡れていても滑りにくい、また表面が熱くな
りづらい合成木材製デッキを整備
汎用性のあるエリアを創出

可動式の日よけを設置

→デッキ内に常設の柱を設けないことで、
小舞台利用など汎用性のあるエリアに

供用開始日

令和8年9月12日（土）

当日午前10時からオープニングセ
レモニーを実施し、その後、一般開放

○オープニングセレモニーの概要

市長挨拶、テープカット、遊び始め

○出席者・来賓者

市長、議長、南区選出議員、大野南地区ま
ちづくり会議会長、近隣保育園園児

児童用想定：打上げ噴水
(16m×9m：楕円形状)

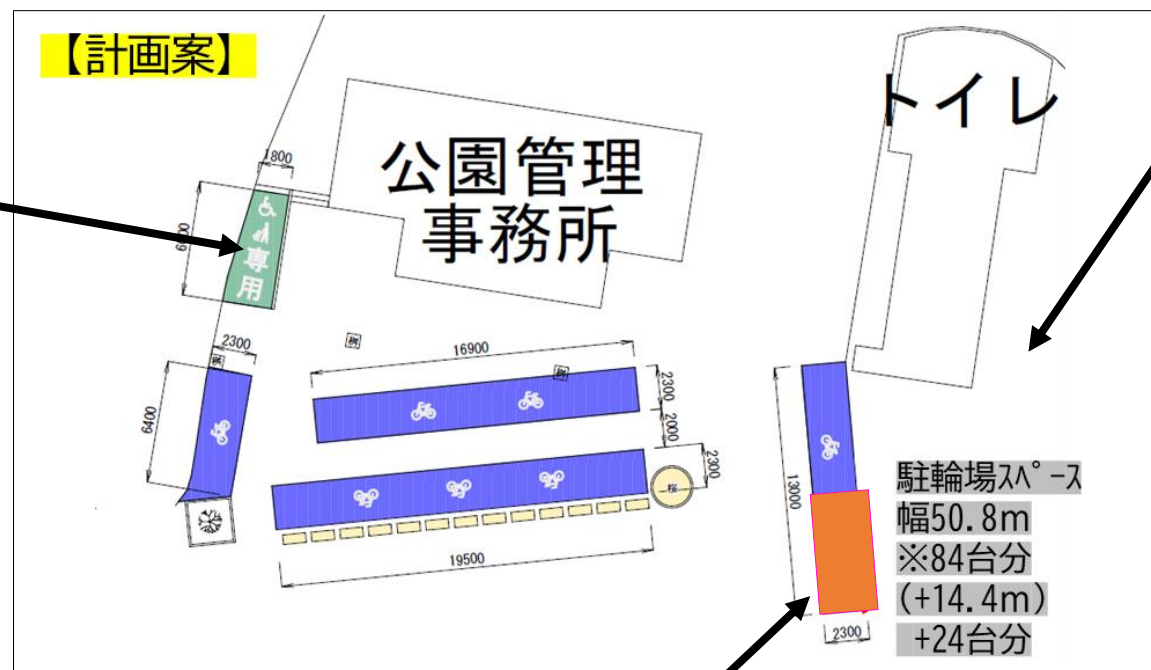
デッキ寸法
幅12m、奥行10m程度
高さ40cm

幼児用想定：ミスト
(8m×6m：楕円形状)

スロープ設置&駐輪場増設

車いすやベビーカーが
公園に入りやすいよう
スロープを設置

【計画案】



シェアサイクル設置（調整中）

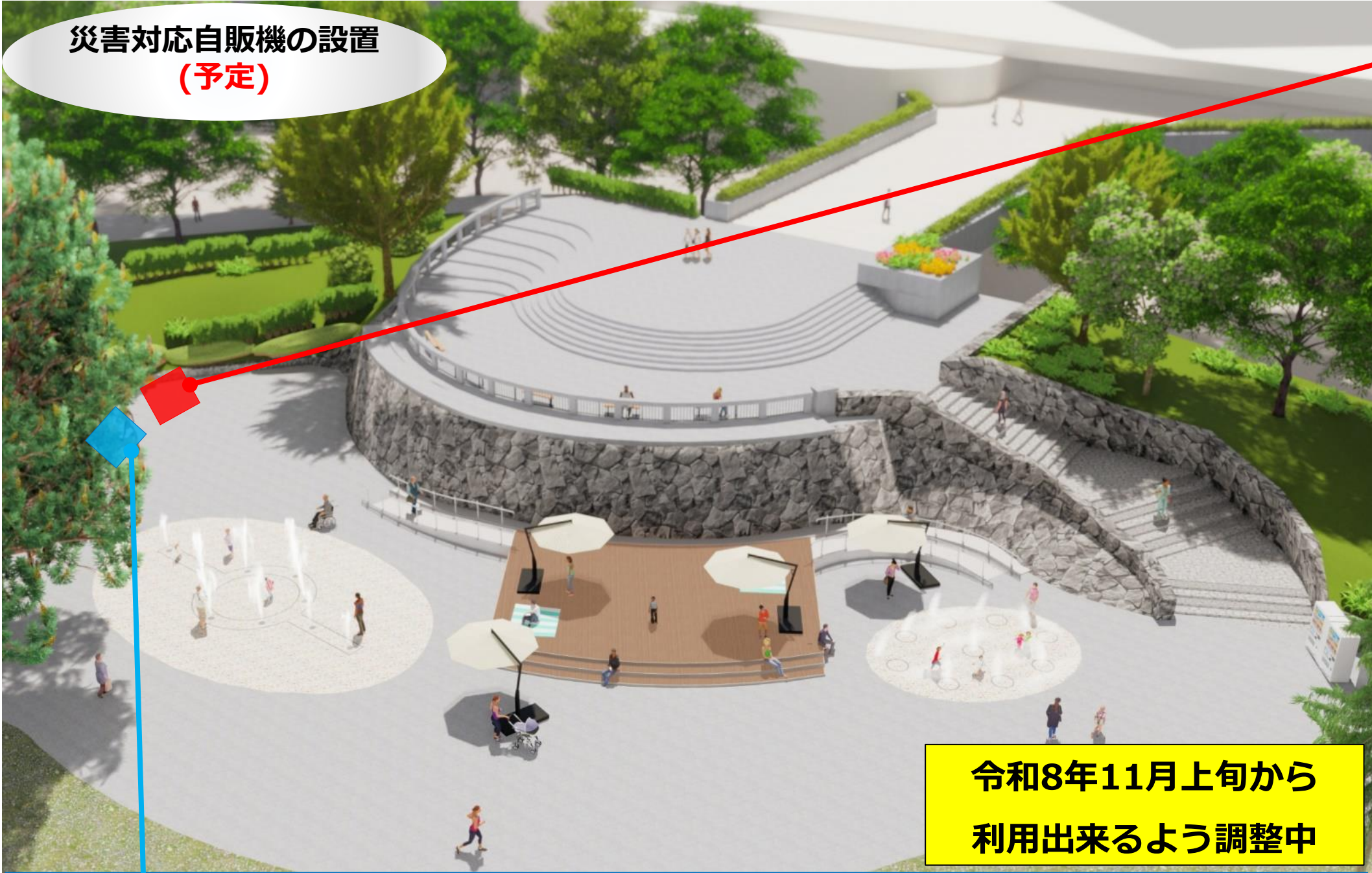
駐輪場スペースを増設
現況60台→84台（24台増設）

特に土日は、イベント時に駐車
場として貸しているエリアまで
自転車の駐輪であふれている



供用開始日

令和8年9月上旬



災害対応自販機の設置
(予定)

防犯カメラ付
自動販売機
※既に園内に
あるものを
移設



令和8年11月上旬から
利用出来るよう調整中

災害対応自動販売機
(新規)

- ニッケル水素電池使用
- バッテリー保持時間2時間以上
- バッテリー交換可能
- バッテリー期待寿命7年以上
- 自販機内部取付タイプ
- キースイッチ簡単操作

アイテム数 25	最大収容 本数 375 ^{※1}	幅 103cm	設置奥行 67cm ^{※2}
アイテム数 36	最大収容 本数 450 ^{※1}	幅 119cm	設置奥行 75cm ^{※2}

※1.350mm底枠
※2.背面とのスペース(10mm~15mm)込みとなります。

◆ 伊藤園自販機 + ChargeSPOTのご紹介



- ・屋外展開可能
- ・自販機側面、コイン投入口側に取付
- ・取付可能自販機
富士電機製2015年度以降生産、
幅870mm以上、奥行き659mm以上
(20セレ)以上の機種

◆ ChargeSPOTのご紹介

どこでも借りられて、どこでも返せる

日本初のデジタルサイネージ搭載
モバイルバッテリーシェアリング

スマホ充電だけでなく、モバイルバッテリー、ChargeSPOT、
従来のコンセントやACアダプターとは異なり、ユーザーは持ち帰るモバイルバ
ッテリーの持ち帰りが可能です。
観光でもバッテリー切れを気にすることなく、快適に観光のひとときをお過ごし
いただけます。

毎日約1万人が新規にユーザー登録

掲載 レンタル機数 256 万台	累計アプリ ダウンロード数 1,269 万回	国内 累計登録数 5 万回
-------------------------------	-------------------------------------	----------------------------



大野南地区防災マップの作成について

1 現状

- ・令和8年度については、現段階で交付申請は無い状況である。
- ・「御園つどいの場」（令和7年度に交付実績有）については、担い手（スタッフ）の確保の観点から、令和8年度の申請には至っていない。

◆ 地域活性化事業交付金について

「地域活性化事業交付金」は、地域住民が自主的な課題解決に取り組む事業に対して交付される交付金であり、主な注意点は次のとおりです。

- ・市の他の補助金と内容が重ならないこと
- ・原則5人以上の団体であること
- ・団体の運営経費は対象外
- ・「印刷や物品の購入だけ」「調査だけ」にならないこと

2 大野南地区防災マップの更新の必要性

前回は平成25年3月に作成しているが、それ以降更新されていない。現状では、次のとおり実態と合わなくなっており、更新が必要な状況である。

- ・避難情報の呼び方の変更：「避難勧告」は廃止され、現在は「警戒レベル」で伝えている（高齢者等避難＝レベル3／避難指示＝レベル4／緊急安全確保＝レベル5）。
- ・新しい防災気象情報：令和8年5月から新しい防災気象情報の運用（警報などの情報名にレベルを付記など）が始まった。
- ・風水害への対応：境川沿いの浸水想定など、大雨・洪水の情報の反映が必要。
→情報が古いままだと、いざという時に誤った案内につながりかねない。

3 交付金の該当可能性について

次の点に注意して事業を行う必要がある。

- ・自主防災組織向けの補助金（自主防災組織活動事業費補助金）においても「防災マップ作成費」が対象となる。
- ・申請者を自主防災組織とは異なる団体名（自治会連合会や作成委員会など）とし、防災に限らず、福祉施設等の地域に必要な情報も追加する。
→申請者と事業の組み立て方を注意したうえで、事業を設計する。

4 想定される内容・スケジュールなど（2ヶ年を想定）

【申請団体名】

現在調整中

【活動内容・スケジュール】

	主な事業内容（想定）
1年目	住民参加型の掲載内容検討（まち歩き点検・ワークショップ・自治会別の危険箇所や避難ルートの確認）。住民参加・担い手育成の視点を主目的に位置付ける。
2年目	印刷＋配布＋防災啓発活動をセットで実施。印刷単独ではなく啓発まで含めて設計

1年目が「デザイン（調査）だけ」、2年目が「印刷だけ」とするのではなく、1年目はまち歩き・ワークショップ等の住民参加型事業とし、2年目は印刷の他に配布時の防災啓発とあわせ、一連のまちづくり事業として組み立てる。

【費用内容（見込）】

- 1年目（令和8年度）まち歩き点検・ワークショップ等の活動費用等（消耗品・会場使用料・制作費等）→ 約150,000円

● 【参考】 2年目（令和9年度）＝印刷費（部数による）、配送費、普及啓発に関する費用 など

- ・印刷費 A4（展開A1）、コート紙、両面フルカラー、ジャバラ折り＋二つ折り（既存マップの改版）

部数	費用（税込）	部数	費用（税込）
10,000部	620,400円	30,000部	1,534,500円
15,000部	785,400円	35,000部	1,786,400円
20,000部	1,071,400円	40,000部	2,015,200円
25,000部	1,314,500円	—	—

- ・配送費 21,450円（税込）

5 防災マップに関する過去の交付金の適用状況について

防災マップ（防災ガイド）の作成に関しては、複数の地区において交付実績がある。申請主体は地区自治会連合会の他に作成委員会・まちづくり会議部会・防災検討会議などがある。

【防災マップに関連（案件名に「防災マップ」が含まれる等）する主な案件】

年度	地区	事業名	申請主体	交付額
【緑区】				
H24	城山	緊急情報マップ作成事業	城山地区まちづくり会議 安心安全部会	350,000円
R4	大沢	大沢地区防災対策資料作成資料	大沢地区自治会連合会	426,000円
【中央区】				
H25	中央	中央地区まちづくり防災プロジェクト	中央地区まちづくり防災プロジェクト委員会	707,000円
R6	中央	中央地区防災ガイド作成事業	中央地区まちづくり防災プロジェクト委員会	592,000円
H26	清新	清新地区防災マップ整備事業	清新地区自治会連合会	600,000円
H30	清新	清新地区防災マップ整備事業	清新地区自治会連合会	990,000円
H25	光が丘	光が丘地区防災マップ整備事業	光が丘地区自治会連合会	328,000円
R7	光が丘	中学生により防災マップ作成事業	中学生防災マップ作成実行委員会	520,000円
H29	小山	小山地区防災マップ作成事業	小山地区防災マップ作成委員会	578,000円
【南区】				
H24	大野南	大野南地区防災ガイド&マップ作成事業 ※当地区	大野南地区自治会連合会	779,000円
H23	相模台	防災マップ作製事業	相模台地区自治会連合会	386,000円
H29	相模台	防災マップ作成事業	相模台地区自治会連合会	330,000円
H28	麻溝	麻溝地区防災マップ改定事業	麻溝地区自治会連合会	600,000円
H30	麻溝	麻溝地区防災マップ改訂事業	麻溝地区自治会連合会	580,000円
H29	相武台	相武台地区防災マップ作成事業	相武台地区防災検討会議	240,000円
H29	東林	東林地区防災マップ作成事業	東林地区自治会連合会	342,000円
H28	東林	東林地区安全・安心マップ作成事業	安全・安心まちづくり推進協議会東林支部	296,000円
H29	東林	同（くぬぎ台小学校区）	安全・安心まちづくり協議会東林支部	157,000円

以上

自治会設立準備に関することについて（プラウドタワー相模大野クロス）

1 交付金を必要とする背景

プラウドタワー相模大野クロスは、南区相模大野4丁目に所在する地上41階・総戸数687戸の大規模タワーマンションである。旧伊勢丹相模原店跡地の再開発で整備され、令和8年1月から入居が始まっている。

入居直後でマンション住民同士や周辺地域とのつながりが薄いことから、周辺地域とのコミュニティづくり、防災力の強化等の観点から自治会の設立を進める必要がある。

同マンションには自治会の設立を目指す住民がいるが、設立までの準備活動等に関し、費用を要する状況である。

2 交付金の該当可能性について

- ・「自治会への加入促進」は、優先的な交付対象事業となっている。
 - ・団体の運営費、純粋な設立手続きだけの費用、物品の購入だけは対象外。
 - ・申請には原則5人以上の団体であることが必要。
 - ・交流イベントなどを実施し、加入促進やコミュニティづくりの活動として組み立てることが望ましい（後述の橋本地区の事例では、設立準備グループが交付金を活用して自治会を設立している）。
- （仮称）自治会設立準備会を申請者としたうえで、加入促進・交流を柱にした事業として設計する。

3 想定される内容・スケジュール

【申請団体名】

（仮称）プラウドタワー相模大野クロス自治会設立準備会

【活動内容・スケジュール】

- ・加入促進・交流イベントを実施し、自治会の設立に向けたPRを行う。
- ・設立総会と合わせて、設立記念のイベントを実施し、未加入者の参加を促す。
- ・加入案内チラシ・広報紙の作成・配布

時期	主な取組
R8.4～7	初回理事会（4/26）での報告・協力依頼、新規設立に向けた事務調整
R8.8	まちづくり会議全体会（8/18・交付金活用を検討）
R8.9～10	管理組合設立総会（9/13・自治会設立を報告） 設立趣意書配布、設立準備会メンバー募集
R8.11～12	設立準備会の開催、加入促進・交流イベントの実施（説明会を兼ねる）
R8.11～R9.1	規約案・事業計画案・予算案の作成、役員選出の検討
R9.2	設立総会・設立記念の交流イベントの開催
R9.2以降	各種届出（新規設立支度金など）、新年度に向けた運営開始準備

- ・ 設立準備会設置後加入促進・交流イベントについては、会議スペース等で開催するのではなく、オーノクロスなどの会場にてブース等を設けたうえで実施する。なお、質問対応についてはブース内にて個別に対応することを想定している。
- ・ 設立総会（令和9年2月予定）に関しては、設立記念の交流会・イベントを併催し、住民同士や地域住民との交流を図る場所とする。

【想定される費用内容（変更の可能性有）】

○ 令和8年12月まで

加入促進・交流イベント（地域に開かれた催し）の会場使用料、材料費、保険料、設立趣意書・加入案内チラシの印刷費、掲示板への広報費 など

○ 令和9年1月以降

設立総会・設立記念の交流イベントの会場使用料、材料費、保険料、加入促進の広報紙・チラシの印刷費 など

科目	費用	説明
一般経費	10,000 円	保険料（加入促進・交流イベント／設立イベントの施設賠償保険）
印刷製本費	50,000 円	設立趣意書、加入促進イベント・設立総会の資料・周知チラシ
施設使用料	70,000 円	会議室（ユニコムプラザ・設立準備会等）・オーノクロスなど
報償費	20,000 円	子ども向け出し物・音楽の出演等
消耗品費	40,000 円	交流・子ども企画の材料、設立記念品、会場装飾・受付用品等
備品借上料	10,000 円	音響・機材のレンタル
合 計	200,000 円	

4 自治会設立に関する他の事例

○ 橋本の事例（設立準備グループが交付金で自治会を設立した例）

- ・ **事業**：西橋本3丁目（イオンマックスバリュー前）住宅地自治会設立事業（平成23年度・橋本地区）。交付額550,000円／視点は「自治会への加入促進」。
- ・ **背景**：旧清水建設跡地の住宅地（約170世帯）に約10年間自治会が無かった。東日本大震災を機に、連合自治会からの呼びかけで設立準備グループを結成した。
- ・ **取組**：防災体験・地域清掃・戸別の加入訪問・餅つきや親子体験などの交流会を実施し、これらを通じて加入を呼びかけた。
- ・ **成果**：加入46世帯で「西橋本あじさい自治会」を設立（平成24年3月24日 設立総会）。設立準備段階の活動費用を交付金で賄い、実際に設立に至った好例である。

年度	申請者	交付金確定額	事業内容
平成23年度	西橋本3丁目住宅地自治会設立準備グループ	550,000 円	設立に向けた防災啓発・環境美化・加入訪問・交流イベント・設立総会
平成24年度	西橋本あじさい自治会（設立後）	250,000 円	避難所選定・防災訓練、こども110番設置、子ども見守り隊結成に向けた啓発、防犯パトロールシート作成、親子交通安全教室、自主防災組織等が一目で分かる資料を作成しての戸別訪問による加入活動、PTA参画による地域交流子どもイベント

○ 大野南地区の事例（大規模マンション自治会の加入促進）

- ・ パークスクエア相模大野自治会（718戸の大規模マンション）：「自治会加入促進事業」で交付実績あり（H22 291,000円＝加入促進チラシの作成配布、自治会掲示板の設置、各種イベント（クリスマスパーティ、もちつき大会等）を実施。H29 180,000円＝子育て世代向けイベント）。

以 上

大野南地区まちづくり会議アンケート結果

資料 3

よいところ

交通の便・アクセスが良い／商店街の活動・イベントが活発／買い物に困らない／緑や公園・自然が多い／文化・公共施設が近い・充実／活気があり若年層も多い（高齢化率が低い）／事件・犯罪が少なく安心（文教都市）／災害が少なく平地で安心／医療機関が多い／地域団体の連携・住民の行動力や結束力／大学と連携した地域づくり

A 地域コミュニティの課題

担い手不足・高齢化。住宅地のつながりや情報が届きにくく、転入者・高齢集合住宅の住民がつながりにくい（近隣付き合いが希薄）。50～60代のひきこもり（ミドルエイジ）等の孤立や、介護保険に頼りすぎない日常の支え合いのしくみも課題。大型店舗・マンションと自治会の連携不足。

【キーワード】担い手不足、高齢化、転入者、ミドルエイジのひきこもり、支え合い、孤立、自治会連携

B 都市機能の集中による課題

駅周辺は便利だが少し離れると不便で周辺との格差。バス減便やコミュニティバス不足で離れた地域の高齢者の移動が困難、買物難民も。駅から離れた地区は坂が多く移動が不便。駅前が狭隘。

【キーワード】駅周辺集中、周辺格差、バス減便・コミュニティバス不足、移動困難、買物難民、坂

C 地元企業の課題

今回のアンケートでは該当意見は少数。大量購入時などに相談できる窓口がない、との声があった。

【キーワード】相談窓口、事業者連携（※意見少）

D 生活環境・公共施設等の課題

健康づくり施設が少ない。良い施設が遠方で不便。公共の場が人口比で少なく、南市民ホール閉館で発表の場が減少。高齢者が歩いて行ける集いの場が少ない（空き家等の活用を）。公園、ゴミ・カラス等。

【キーワード】公共施設不足、健康づくり施設、発表の場、集いの場、空き家活用、公園

E 娯楽・商業施設の課題

1日・ファミリーで過ごせる場所が少ない。映画館がなく市外へ流出。専門店が少なくホームセンター等へ。宿泊施設が少ない。駐車場が少なく料金も高い。

【キーワード】映画館、専門店、宿泊施設、滞在型施設、駐車場、市外流出

F 自転車利用・マナーの課題

自転車走行路・歩道の整備（平板化）が必要。無断駐車や駐車場・駐輪場の混雑（ポーノ周辺の駐輪も多い）。

【キーワード】自転車走行路、歩道整備、無断駐車、駐輪場混雑（ポーノ周辺）

G 道路インフラの課題

道路・歩道が狭く段差や路面の老朽化・凹凸。相模大野駅周辺の渋滞、雨天時に車がさばけない。UD対応の遅れ。

【キーワード】道路・歩道が狭い、段差・老朽化、渋滞、雨天時混雑、UD整備

H 防犯・安全の課題

空き店舗・空き家の増加。客引きの存在（北口側）。セキュリティの高い集合住宅は支援者が入りにくく、孤独死の発見が遅れた例も（見守り）。

【キーワード】空き家・空き店舗、客引き、防犯、高齢者の見守り

I 防災＜今回追加したテーマ＞ 防災対策の強化、災害時の避難経路・情報共有（特に高層住宅）、大規模災害時の共助体制づくり。

【キーワード】防災、避難経路、情報共有、共助体制

※上記AからHの区分は、昨年のまちづくり会議に実施したアンケートでの区分と同一のものとなる。

No.	【問1】大野南地区の「良いところ」を3つ			【問2】問1で挙げたことをどのような時に感じますか			【問3】「気になるところ」「こうすればいいのに」を3つ			【問4】問3で挙げたことをどのような時に感じますか			備考（自由記述・取消線・要確認 等）
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	
1	徒歩や自転車移動できる範囲が充実している（店舗・施設etc)	商店街による活動・イベントが活発に行われている	便利でにぎわいがあるが落ち着いた雰囲気もある	商業・行政がまとまっていてスムーズに用事が済ませられる	イベント参加を目的にしなくても何かしらの催しに出会う	住環境としても適度に便利でかつ穏やかな町並み	ファミリー層が車で移動する時に利用しにくい仕組み	1日過ごせるだけの施設やメリット等がない	大型店舗が近くにあるても自治会との連携がない	駐車場が少なく料金も高いため、ゆっくり過ごせない	映画館がないため市外へ家族で流れていってしまう	物品を大量購入する際などの相談（窓口）する先がない	
2	交通の便が良い	程良く自然もあり住みやすい		通勤やレジャーの時	毎日、休日など		道路がせまい所がいっぱいある			車の運転など			
3	大野南地区まちづくりセンター等をNetで紹介している	ほほえみネット推進委員会 活動		Netで確認した時	7/8の第1回ほほえみネット推進委員会に参加して、活動を確認したい		公園が少ない	まちづくりの方針がわからない		まちを歩いた時			
4	地域団体の連携が良い	事件が少なく、比較的安心して住める	教育機関が多く落ちついた文教都市である	災害に強い環境にある	はなやかさはないが、住むには良いまち	他団体のがんばりが良く見える、会議体に積極的である	公共の床が人口に比して少ない	まちのインフラ整備が追いついていない	駅前が狭隘である	南市民ホールがなくなり発表の場がなくなった	ユニバーサルデザインの視点からおくれている（舗道、道路の穴、街路樹整備）	雨天時など車が混雑してさばけない	
5	買い物に困らない	緑や公園が多い	文化施設・地域のイベントが充実している	大型スーパー・コンビニが多い	散歩・運動の機会が作れる	コンサート、地域イベント、夏祭りがある	道路・交通の不整備	防災対策の強化	地域のつながり作り	渋滞、自転車走行路・歩道の整備（平板化）	災害時の避難経路・情報の共有（特に高層住宅）	転入者が多く、地域とのつながりが少ない	
6	交通の便が良い	商業地として活気がある	犯罪発生率が比較的に少ない	都心へも、横浜へも、新幹線にも便利	相模大野駅を中心に商店街が広がっている	駅周辺でもヤンキー等はほとんど見かけない	空き店舗、空き家が増えている	道路、歩道が狭く、段差等が気になる	少し離れると不便、地域の将来像が見えない	通り沿いにこのような状況が見える。	バス路線が狭い所に、車・自転車が交差している	バスが間引きされ、離れた所の高齢者の移動が困難	
7	活気がある。	商業地区と文教地区がはっきり分かれている（相模大野周辺）。	交通の便が良い。	各自治会の活動や事業が盛んであると感じる。	買い物に出かけた時や、業務で学校を訪問した時に感じる。	鉄道（小田急線、横浜線）やバスを移動する時、国道16号で車移動する時に感じる。	道路が狭い。	相模大野駅周辺の車渋滞がひどい。	地域活動や公民館事業に協力していただける方が高齢化している。地域への関心が薄れている。	車を運転している時や歩行中に狭くて危ないと感じる。	朝夕の通勤ラッシュ時や休日に感じる。	委員の推薦や事業を実施する時に感じる。	
8	地域イベントが多いこと	横の繋がりが強いところ		イベント数	各会合								
9	近隣商店街の活動が活発でイベントが多い	お店、学校が駅近くにコンパクトにまとまって便利	若年層も駅前に多く利用していてにぎやか、活気がある	ポーノ近隣、北口、南口、全てで通年イベントがある	駅前で購入物全てがすみ、またくつろげる街	平日、休日を通じて若年層の声が多く聞こえる	健康作りに特化した公共施設がない、少ない	道路面、歩道面の老朽化が進んできている		市民健康文化センター、北の丘センターはとても良い施設で良く利用するが、遠方となり不便	路面の凹凸、はがれが全体的に見受けられる		
10	交通アクセスの良さ	買い物や飲食の充実	自然環境とのバランス	「都心にも観光地にも行きやすい」という良さ	「大抵のことが済む」と感じる。	駅周辺の便利さと落ち着いた住宅地	地域活動の担い手不足→こうなればもっと良い：短時間・単発参加型のボランティア増	住宅地のつながり（地域行事の情報が届きにくい）→こうなればもっと良い：地区内の公共施設・機関や各種地域団体との連携強化（それぞれの施設・機関でおなじようなことをやっている）	災害への備え（大規模災害時の共助体制づくり）→こうなればもっと良い：子どもや若い世代も参加する中央公園を活用した防災訓練の実施	地域活動の担い手不足→こうなればもっと良い：短時間・単発参加型のボランティア増、大学生や高校生が活躍できる場を広げる	住宅地のつながり（地域行事の情報が届きにくい）→こうなればもっと良い：地区内の公共施設・機関や各種地域団体との連携強化	災害への備え（大規模災害時の共助体制づくり）→こうなればもっと良い：子どもや若い世代も参加する防災訓練の実施	【自由記述】大野南地区は交通の便、商業機能、公共施設、大学、住宅地の土台がそろっている地域のため、「人と人をつなぐ仕組みを増やすこと」が地域をさらに良くなると思います。便利な都市型住宅地だからこそ、「近くに住んでいてもつながりがない」という課題や地域活動が高齢世代中心になっており、相模大野には多くの人が集まりますが、その人たちと地域活動を結び付ける工夫が必要だと思います。また、転入者が地域活動の情報を得にくく、地域に参加したいが入口が分からない」という声も聞きます。災害や緊急事態時への対応では、防災訓練への参加者が限られていることや要支援者への支援体制に不安を感じます。（災害時には地域のつながりが重要）
11	緑が多い	文化施設、公共施設が近い	イベント、お祭りが多い	相模大野中央公園	グリーンホール、相模大野図書館	もんじゃまつり、ふるさとまつり	カラスが困る。	無断駐車が困る。	客引きがいる	ゴミ集積が汚い	駐車場駐輪場が混でる	北口側に出没	
12	駅周辺は医療機関やスーパー・薬局が多く、便が良い	高齢化率が低く、若い世代が多く活気がある		通院する病院の選択肢が多い	駅周辺の商業施設は若い人で賑わっている		足腰が弱った高齢者が歩いて行ける集いの場が少ない（民間企業の会議室等や空き家を活用できないか？）	高齢集合住宅の住民は隣近所との付き合いが希薄な傾向がある。	セキュリティが高い集合住宅は支援者等が入りにくい。住宅内で孤独死していて発見が遅れたケースもある。	駅から離れた地区は坂が多く、また自治会館をもたない自治会がある。			
13	災害が少ない	交通環境が良い、移動に便利（小田急他）	病院・店舗が多い。どこでも利用しやすい。	地形的に平地なため発生時災害が少ない	駅まで出れば、時間どおりに行ける。	店舗は専門店が少なく、ホームセンター他に行くしかない。	駅周辺にホテル等宿泊施設がない（1件のみ）	ポーノ周辺の自転車の駐輪が多い。		山間部の方が自然は多いが移動に不便			
14	駅周辺は利便性は高い	地域住民の行動力や結束力がある。	大学など、文化・教育施設があり、文化的。	仕事上でも、イベントでも何でも街の中でこたたりる	仕事で地域の方と接する時	仕事で大学とも連携し、日頃から地域資源として考えている。	モデルエイジの問題が気になる。	日常のちょっとした支え合いのしくみが生まれるとよい。	駅から少し離れた地域の買物難民、移動の問題	50代、60代のひきこもり者の世帯に多く接するので。	公的介護保険のサービスまで使わずともまかなえるしくみがほしいと感じるので。	コミュニティバスなど移動手段が不足していると感じるので。	

令和8年度 大野南地区 まちづくりを考える懇談会のテーマについて

1 検討・協議していただく内容

(1) アンケート結果を受けての感想や意見

- ・気になるところや改善点で印象に残ったところ。
- ・あらためて気になったこと（書かれていなかったこと）などを意見交換する。

(2) 検討するテーマの候補（3つ程度）

- ・候補とする理由も意見交換する。

※アンケート結果によるテーマ案（下記2）は参考。案以外の候補でもよいものとする。

(3) テーマを深めるための論点

- ・懇談会は、要望や事業説明を求める場ではなく、地区と市が協働で何ができるかを考える場である。
- ・（2）で挙げた候補について、「市に質問したいこと」と「地域として取り組めること」などを出し合う。

2 アンケート結果に基づくテーマ案【参考】

案	テーマ案	主な根拠（アンケート結果より）
1	文化振興プラザ事業と南市民ホール跡地の有効活用について	南市民ホールがなくなり発表の場がなくなった／公共の床が人口に比して少ない／文化施設、公共施設が近い
2	公園・大学・公民館を活かした（健康づくりの）まちづくりについて	健康作りに特化した公共施設がない／市民健康文化センター等は良い施設だが遠方で不便／緑や公園が多い
3	防災力の強化について	防災対策の強化／災害時の避難経路・情報の共有／子どもや若い世代も参加する防災訓練
4	大学・高校などと連携した地域活動の担い手づくりについて	地域活動の担い手不足／短時間・単発参加型のボランティア増／大学生や高校生が活躍できる場を広げる

3 テーマ設定の条件（令和8年度実施要領・通知より）

- ・テーマの数は原則一つ（時間内での運営が見込まれる場合は二つまで）。
- ・適当な例…地域資源をいかしたテーマ（例：「〇〇を活かした地域の魅力発信の方法について」「〇〇跡地の有効活用による地域の活性化について」）。
- ・適当でない例…広範なテーマに関連性のない地域課題を複数詰め込んでいるもの／単なる要望や事業説明を求める内容。
- ・テーマの考え方…現在、地区で重点的に取り組んでいるもの／今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

4 今後のスケジュール（案）

時期	内容
8月18日（火）第2回全体会	アンケート結果の共有 テーマ候補の討論（グループワーク）
10月13日（火）第3回全体会	テーマの決定
11月17日（火）第4回全体会	テーマに関する検証①
12月15日（火）第5回全体会	テーマに関する検証②
令和9年1月26日（火） 第6回全体会	最終確認
令和9年2月予定	まちづくりを考える懇談会

5 過去のテーマ

(1) 過去のテーマの一覧

年度	テーマ
平成 22 年度	政令指定都市移行に伴う任意団体等への市の支援について（議題形式）
平成 23 年度	地域の課題解決の促進のための区への分権について
平成 24 年度	大野南地区の活性化について（西側地区再開発・ボーノ相模大野／三核構造）
平成 25 年度	高齢者の暮らしやすいまちづくりについて～高齢者の移動手段を中心に～
平成 26 年度	地域コミュニティの醸成について
平成 27 年度	安全・安心なまちづくりについて／地域活動を推進する環境づくりについて
平成 28 年度	さらなる地域防災力の強化に向けた地域での取組みについて／高齢者がいきいきと安心して暮らすことができるまちづくりについて
平成 29 年度	ごみの減量化・資源化と地域負担の軽減について／ふれあい広場の管理について
平成 30 年度	市の南の玄関口としての今後のあり方について／地域防災力の強化につながる「災害発生前の公助」のあり方について
令和 元年度	相模大野駅周辺の今後のまちづくりについて
令和 2 年度	相模大野駅周辺の今後の魅力あるまちづくりについて
令和 3 年度	未実施
令和 4 年度	未実施
令和 5 年度	相模大野駅周辺の現況と今後の魅力あるまちづくりについて
令和 6 年度	人口が増加することが見込まれる地区「大野南」の今後のまちづくりについて（子どもたちが育つ環境）
令和 7 年度	人口増加が続く大野南地区の課題について（①マンション建設と自治会加入 ②伊勢丹跡地の整備 ③人口増が続く成長地域の公共インフラ・南市民ホール）

(2) 過去のテーマの傾向

- ・「相模大野駅周辺のまちづくり」「伊勢丹跡地／三核構造・南の玄関口」は、平成 30 年度以降繰り返しテーマとなっている。
- ・近年（令和 6・7 年度）は「人口増加」「マンション建設と自治会加入」「公共インフラ（老朽化）・南市民ホール」が柱となっている。
- ・防災（H28・H30）、ごみ（H29）、安全・安心（H27）、地域コミュニティの醸成（H26）、高齢者施策（H25・H28）は過去に扱われている。

以 上